

セーフコミュニティ事前指導の実施結果について（報告）

栄区は、WHOが推奨する国際認証セーフコミュニティを取得し、安全・安心のまちづくりを進めています。今回、平成30年度の再認証に向けた事前指導を9月8日（金）～10日（日）に実施しました。

1 事前指導実施概要

- (1) 会場：栄区役所新館4階 8・9号会議室
- (2) タイムスケジュール

9月8日（金）	現地視察を実施（元気づくりステーションリーダー養成講座、翠風荘、本郷ふじやま公園、スクールゾーン対策モデル地点）
9月9日（土）	開会、栄区概要、各分科会発表（傷害サーベイランス、防犯対策、スポーツ安全対策、災害安全対策）、交流会（連合町内会長、分科会座長、栄区議員団、審査員、日本セーフコミュニティ推進機構、認証都市職員、栄区職員が参加）
9月10日（日）	各分科会発表（こども安全対策、児童虐待予防対策、高齢者安全対策、自殺予防対策、交通安全対策）、全体講評

【分科会発表の様子】



- (3) 審査員：デイル・ハンソン（Dale Hanson）先生、チョ・ジュンピル（趙 竣侖）先生
- (4) 視察者：9月9日、10日の2日間で延べ192人（韓国からの視察者49人、国内他都市からの視察者33人、栄区関係者75人、その他35人）

2 主な審査員講評内容

- ・前回認証時と比較して、取組が進んでいる。
- ・データに基づいて問題点をしっかり示し、それに対する解決策をきちんとロジックを使って示すことができている。
- ・取組に素晴らしいポイントがたくさんあったので、誇りに思っている。
- ・取組をわかりやすく見せるための工夫がもっとできる。
- ・論理的な説明はできているので、感情に訴えかけるプレゼンテーションを考えてみては。
- ・認証取得のための指標（※）をどのように満たしているのかアピールしてほしい。

※セーフコミュニティ認証取得のための7つの指標

- ①分野の垣根を超えた協働を基盤とした推進組織を設置する
- ②両性・全年齢、あらゆる環境・状況をカバーする長期プログラムを継続的に実施する
- ③ハイリスクの集団・環境および弱者を対象としたプログラムを実施する
- ④根拠に基づいた取組を実施する
- ⑤外傷が発生する頻度とその原因を記録するプログラムを実施する
- ⑥プログラムの内容・実施行程・影響をアセスメントするための評価基準を設定する
- ⑦国内外のセーフコミュニティネットワークへ継続的に参加する

3 事前指導の様子

【区長挨拶】



【元気づくりステーションリーダー養成講座視察】



【本郷ふじやま公園視察】



【プレゼンテーション後の審査員コメントの様子】



【栄区の皆さんと審査員の先生方との交流】



【韓国の視察団の皆さまからの贈り物】



【審査員講評の様子】



【最後に記念撮影】

